

第48回 獣医学セミナー

甘い毒 ～ウイルス蛋白への糖鎖修飾 とvirulenceを考える～

渡邊理恵 先生
(獣医衛生学)

2014年 4月30日 (水)
17:00-18:00
連獣棟4階大講義室

節足動物を利用して感染を広げるウイルスの多くは、媒介宿主の中で少し増えてから、終末宿主である哺乳動物に感染し、病気を起こします。そのためには、媒介宿主の中では静かに、かつ宿主に害を及ぼすことなく増殖する必要がありますが、それを可能にする仕組みの詳細は、未だ明らかになっていません。私たちは、ヌカカによって媒介されるイバラキウイルスを、哺乳動物、あるいは昆虫由来の培養細胞に感染させた時に見られる“違い”について研究し、本ウイルスが示す宿主特異的な病原性発揮メカニズムを、明らかにしようとしています。本セミナーでは、感染細胞内で起こるウイルス蛋白質への糖鎖修飾に着目し、ウイルスの病原性が糖鎖の有無によって制御される可能性について、他のウイルスで報告された結果も交えつつ考察していきます。

★飲み物・おやつを用意します。

教員・学生の積極的な参加をお願いします！★

連絡先：加納 聖 (5883)
清水 隆 (5895)

共同獣医学部

